

# JAPAN PRIZE 2019

第46回 日本賞 教育コンテンツ国際コンクール

2019年11月1日（金）～8日（金）

【参加国】53の国と地域【参加作品数】288作品

## 「日本賞」各部門

### コンテンツ作品・5部門【エントリー数 249】

※音と映像を用いた作品で2018年1月1日～2019年6月30日までに放送・公開したもの

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| ① 幼児向け（視聴対象が0歳～6歳） | 【37作品】 |
| ② 児童向け（6歳～12歳）     | 【63作品】 |
| ③ 青少年向け（12歳～18歳）   | 【53作品】 |
| ④ 一般向け（18歳以上）      | 【66作品】 |
| ⑤ デジタルメディア         | 【30作品】 |

### 企画部門【エントリー数 39】

※予算や機材などの制作条件が十分でない国・地域の教育に役立つテレビ教育番組の企画

詳細は <http://www.nhk.or.jp/jp-prize/>

主な日程 [開催期間：11月1日（金）～8日（金）]

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| 11月1日    | 開会レセプション、審査              |
| 11月2日～4日 | 審査                       |
| 11月5日    | デジタルメディア部門 公開プレゼンテーション審査 |
| 11月6日    | 企画部門 公開プレゼンテーション審査       |
| 11月5日～7日 | 「教育」を考えるセッション、作品上映会      |
| 11月8日    | 授賞式                      |

## **会期中の主なイベント**

「日本賞」の公開イベントを、去年に引き続き、NHK を飛び出し、さまざまな活動をしている人たちとのコラボレーションで実施します。

### **【11月5日(火)】会場:渋谷キャスト(東京・渋谷)**

#### **○デジタルメディア部門公開プレゼンテーション審査**

デジタル技術を使って教育の可能性を開くコンテンツを競う部門。一次審査を勝ち抜いたファイナリストが、最終プレゼンテーションを行います。また、会場には期間中、ファイナリスト作品を体験するコーナーを設けます。

#### **○アメリカPBS Kidsとのパネルディスカッション**

子ども向けプラットフォームを充実させ、さまざまなコンテンツを発信している公共放送PBS Kidsから、ゼネラル・マネージャーLesli Rotenberg氏を招き、「子どもとメディア」をテーマに意見交換します。

### **【11月6日(水)】会場:JICA 地球ひろば(東京 市ヶ谷)**

#### **○企画部門公開プレゼンテーション審査**

機材や予算が十分ではない国や地域の制作者が、教育テレビ番組の企画を競う企画部門。最優秀賞（放送文化基金賞）受賞者には賞金10,000ドル、優秀賞（日本ユネスコ協会連盟賞）には賞金6,000ドルが贈られ、これを制作費として企画を実現することができます。

国際協力・国際理解に関心の高い人たちが集うJICA地球ひろばで開催し、ファイナリストとの交流の機会を設けます。

#### **○2018年度企画部門最優秀賞作品**

『命～自殺を止めるために～』（メキシコ）

ワールドプレミア上映。制作者Elke Franke氏を招き、トークショーを行います。

※6日、渋谷キャストでは過去の受賞作品（日本語版）の上映を行う予定です。

### **【11月7日(木)】会場:渋谷キャスト(東京・渋谷)**

#### **○ファイナリスト作品上映会**

「多様性」「LGBT」「環境」「いじめ」「SDGs」…教育コンテンツに登場する各国の課題が、エントリー作品に描かれています。作品の上映、制作者トークなども行います。

※11月5日～7日のイベント期間中、渋谷キャストでは全エントリー作品をご覧いただけるビデオバーと、デジタルメディア部門ファイナリスト作品の展示を行います。